

環境報告書

Environmental Report

2019

対象期間；2018年4月～2019年3月



秋の陵北公園
(本社5Fより北を望む)



西川ゴム工業株式会社
NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.

目次

	(ページ)
・ 会 社 概 要	1
・ 環 境 マ ネ ジ メ ン ト	1
・ 環 境 保 護 へ の 取 組 み	2
・ 環 境 に 配 慮 し た 設 計 ・ 生 産 活 動 の 紹 介	2
・ 廃 棄 物 に 関 す る 取 組 み	3
・ CO ₂ 排 出 量 削 減 の 取 組 み	4
・ 主 要 海 外 グ ル ー プ 会 社 環 境 実 績	5
・ 環 境 負 荷 物 質 の 排 出 状 況 と 水 使 用 量	6
・ 2018年 度 の 環 境 パ フ ォ ー マ ン ス ま と め	7
・ 環 境 コ ン プ ラ イ ア ン ス	8
・ 地 域 貢 献 活 動 , 環 境 保 護 活 動 , コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	
(国 内 生 産 拠 点)	9 ~ 10
(国 内 関 係 会 社)	11
(海 外 関 係 会 社)	12 ~ 15
・ BCP対 応 (西 日 本 豪 雨 災 害 を 受 け て)	16

会社概要 (2019年3月31日 時点)

【 会 社 概 要 】

社 名 西川ゴム工業株式会社 (NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.)
 所 在 地 〒733-8510 広島市西区三篠町二丁目2番8号
 代 表 者 代表取締役社長 福岡 美朝
 設 立 1949年4月
 資 本 金 3,364百万円
 従 業 員 数 1,382名 (連結:6,733名)

【 事 業 内 容 】

自動車用部品 ゴム・樹脂シール製品, 内外装製品, 等
 一般産業資材 住宅関連製品, 土木関連製品, 等

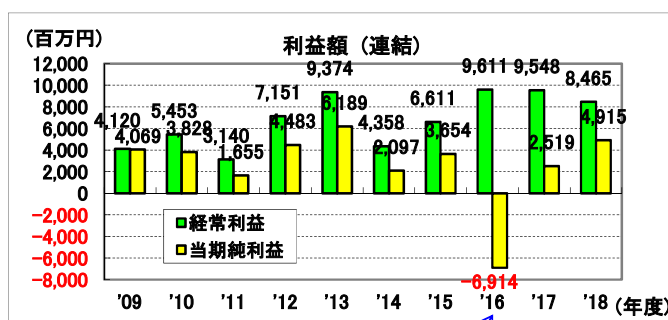
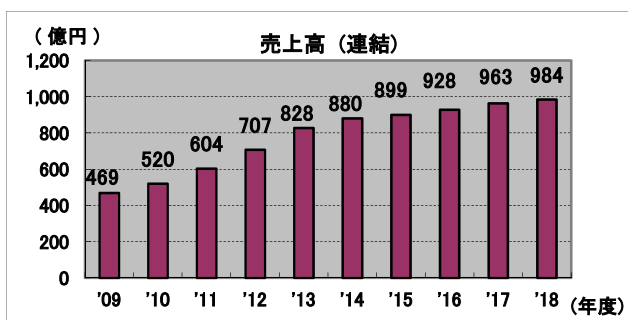
【 国 内 拠 点 】

工 場 白木工場, 吉田工場, 安佐工場, 三原工場
 営 業 所 横浜営業所, 宇都宮営業所, 浜松営業所, 名古屋営業所, 大阪営業所, 広島営業所, 山口出張所
 国内関係会社 西川物産(株), (株)西川ビッグオーシャン, (株)西川ゴム山口, (株)西和物流, 西川デザインテクノ(株)

【 海 外 拠 点 】

ア メ リ カ NISHIKAWA COOPER LLC / Nishikawa of America, Inc.
 タ イ Nishikawa Tachaplalert Cooper Ltd.
 中 国 上海西川密封件有限公司 / 広州西川密封件有限公司 / 西川橡胶(上海)有限公司 / 湖北西川密封系統有限公司
 メ キ シ コ NISHIKAWA SEALING SYSTEMS MEXICO S.A. DE C.V.
 イ ン ドネ シ ア PT. NISHIKAWA KARYA INDONESIA
 イ ン ド ALP NISHIKAWA CO., PVT. LTD.
 イ ギ リ ス Nishikawa Rubber Co., Ltd. Europe Branch

【 連 結 業 績 の 推 移 】



※ '16年度は、独占禁止法関連損失を特別損失として計上の結果、利益額のマイナスが発生しました。

環境マネジメント

【 環 境 方 針 】

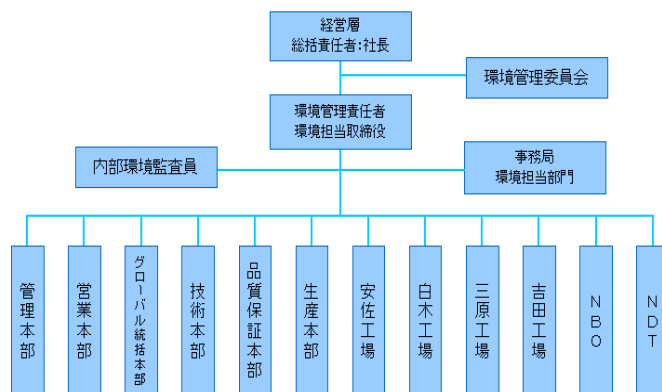
< 基本理念 >

当社は、環境保護を経営の重要課題として位置づけ、開発・設計・購買・生産・物流・販売・廃棄までの製品のライフサイクル全段階にわたって、社は(正道, 和, 独創, 安全)の精神で「地球にやさしい事業活動」をグループ全体で取り組みます。

< 行動指針 >

- 法令遵守
環境関連の関係法規制等、及び当社が合意するその他の要求事項を遵守します。
- 環境に配慮したモノづくり
省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物の削減、環境負荷物質(有害化学物質)の使用抑制及び汚染の予防に取組み、その継続的改善による環境保護に努めます。
- 社内啓発活動
全従業員の環境に関する法律遵守及び環境への意識向上を図るため、環境教育を継続的に実施し、全社的な環境保護活動を推進します。

【 環 境 管 理 体 制 】



● ISO14001認証取得状況

取得時期	有効期限	認証機関
2000年12月	2021年9月	DNV GL Business Assurance

環境保護への取組み (西川ゴム単体)

西川ゴム工業の環境側面をふまえて、環境目的・目標を設定し活動しています。

● 2018年度目標と結果

No.	取組み項目	2018年度目標	2018年度実績	備考
1	CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量 41,833 t	CO ₂ 排出量 43,270 t	昨年度は、全体的な仕事量の増加とともに、一部の生産拠点において豪雨災害の影響も多少あり、排出量の目標は未達となりました。(原単位は改善目標達成)
2	CO ₂ 原単位の削減 (排出量 t/投入重量)	CO ₂ 原単位 1.353	CO ₂ 原単位 1.309	
(参考)	CO ₂ 原単位の削減 (排出量 t/売上高)	CO ₂ 原単位 0.878	CO ₂ 原単位 0.854	ただし、総排出量の削減は長期的視点にたち来年度以降も、長期(2030年度)目標として設定されている目標値へ向け、改善を継続的に推進していきます。
3	製品含有化学物質管理 システム構築(REACH規制対応)	化学物質全成分把握 調査把握 100%	化学物質全成分把握 調査把握 100%	
4	マテリアルリサイクルの推進	軽量化・樹脂化、マテリアルリサイクルの技術開発	軽量化・樹脂化、マテリアルリサイクルの技術開発	

● 長期環境目標の設定 (2013年度基準 ⇒ 2030年度 排出量 6.5%削減)

No.	目標項目	(基準年度) 2013年度実績	2019年度目標	2030年度目標
1	CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量 39,900 t	CO ₂ 排出量 41,623 t	CO ₂ 排出量 39,369 t
2	CO ₂ 原単位の削減 (排出量 t/投入重量)	CO ₂ 原単位 1.478	CO ₂ 原単位 1.301	別途設定
3	製品含有化学物質管理 システム構築(REACH規制対応)	化学物質全成分把握 調査把握 100%	化学物質全成分把握 調査把握 100%	化学物質全成分把握 調査把握 100% (継続対応)
4	マテリアルリサイクルの推進	軽量化・樹脂化、マテリアルリサイクルの技術開発	軽量化・樹脂化、マテリアルリサイクルの技術開発	別途設定

環境に配慮した設計・生産活動の紹介

● 塗装乾燥炉の熱源ハイブリッド化による省エネ

黒いウェザーストリップの表面に黒い塗装をする。「何のために？」という疑問が浮かぶかもしれません。

実は、この表面塗装には耐摩耗性向上をはじめとする多くの役割があり(図1参照)、今やウェザーストリップには欠かせないほどのマストアイテムです。

その対象製品(ワーク)は小さいものから大きいものまで多種多様。そして、その塗り方も押出ラインで連続的に塗るもの、オフラインでロボット等により個別に塗るものなど様々ですが、いずれの場合も一定時間、所定の熱量で加熱してワークを乾燥させる必要があります。

私たちは、ここに省エネのターゲットを定め改善を行いました。

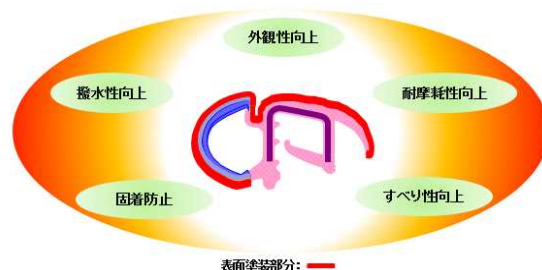


図1 表面塗装による付加機能

乾燥炉では一般的に、電気ヒーターで加熱した空気を大型の送風ファンで循環させて加熱対象物を加熱しています。

この経路の途中に、ボイラーによる蒸気を取り入れて熱交換器を介して空気の昇温をさせて一部電気ヒーターの代替をさせています。(電気と蒸気の併用)・・・(図2参照)

そして今回の活動の結果として、図3に示すような大きな省エネ効果を得ることができました。

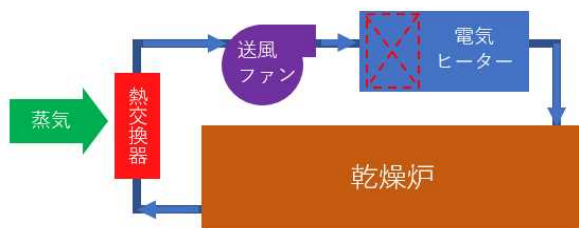


図2 乾燥炉改善の概要図

今後も、様々な視点の下で創意工夫や改善を積み重ねて、より効率の良い環境に優しいモノづくりを目指してまいります。

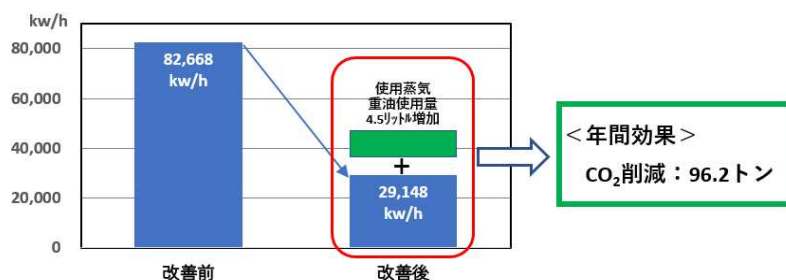


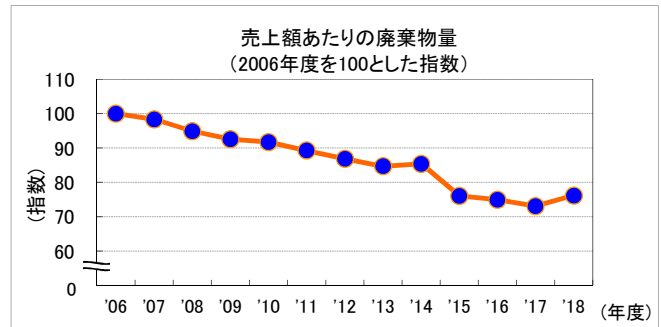
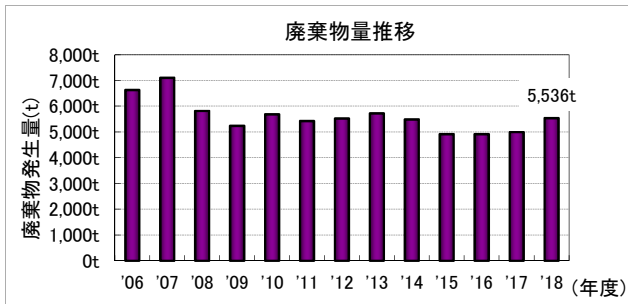
図3 使用電気量削減と改善効果

廃棄物に関する取組み

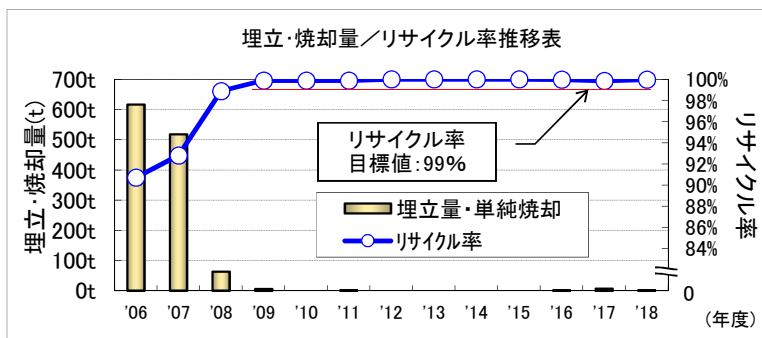
● 廃棄物量の削減(西川ゴム単体)

2018年度の廃棄物量は、一部の工場で豪雨災害の復旧処理により多少の増加となり、売上額あたりの廃棄物量(原単位-指数)も、前年度比約3ポイントのUPとなっております。

引き続き、歩留の向上、不良率の低減等、廃棄物発生抑制に継続的に取り組んでまいります。



● リサイクル率の向上(西川ゴム単体)



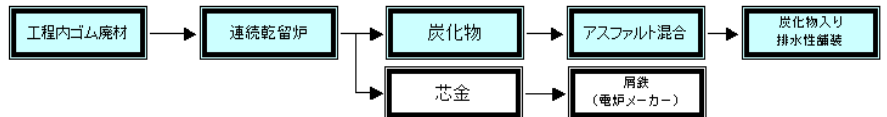
2009年度に、目標としてきたリサイクル率99%を達成し、2009年度以降目標値クリアを継続しています。

- *1)埋立量:直接埋立される廃棄物量
- *2)リサイクル率:埋立, 単純焼却以外の廃棄物量/廃棄物の総量

● 廃棄物の有効利用(西川ゴム単体)



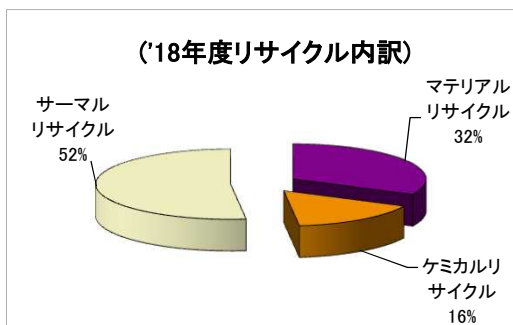
工程内ゴム廃材を炭化させたものとアスファルトを組み合わせることにより、丈夫で安価な排水性アスファルト混合物を作っています。



- ※ 乾留技術の詳細については、http://www.nishikawa-rbr.co.jp/technology_recycle.php
- ※ 炭化物をアスファルトへ添加する技術の詳細については、http://www.nishikawa-rbr.co.jp/technology_asphalt.php をご参照ください。

● リサイクルの内容について(西川ゴム単体)

当社のリサイクルの内訳は、29%がマテリアルリサイクル、22%がケミカルリサイクル、そして残りの49%がサーマルリサイクルです。



【マテリアルリサイクル】

ゴムの廃材を利用したゴム板を作成し、一部の自動車のガソリタンク緩衝材や住宅の防音床や、人工芝用資材として、又 ポリエチレンシート of 端材をエアコンのドレンホースの材料として再生されています。



【ケミカルリサイクル】

ゴム廃材を連続乾留し、生成された芯金と炭化物をそれぞれ売却しています。

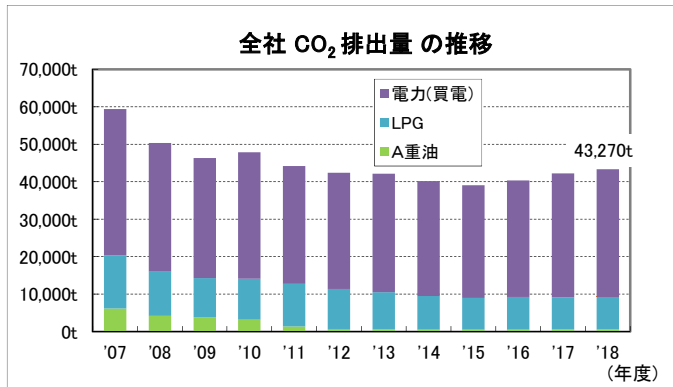
【サーマルリサイクル】

セメント会社の原燃料として利用されています。また、RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel の略称で固形燃料) の原料の一部となり、多くは製紙会社の燃料として利用されています。



CO₂排出量削減の取組み

● CO₂排出量の推移（西川ゴム単体）



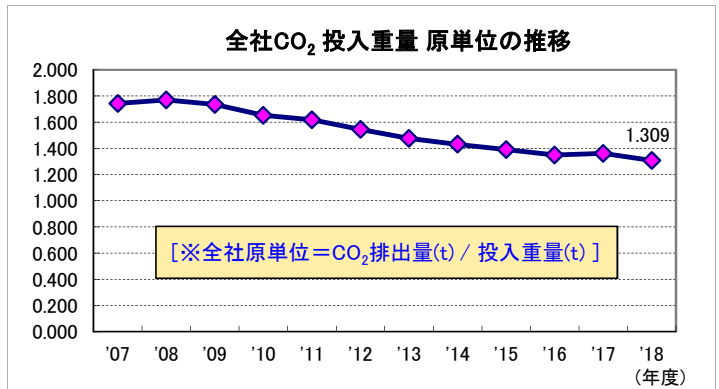
CO₂換算係数は、下記の値を使用しました。

- ・電力: 0.555 kgCO₂/kWh(代替値)
- ・A重油: 2.71 kgCO₂/L
- ・LPG: 3.00 kgCO₂/kg

※出典: 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(環境省)

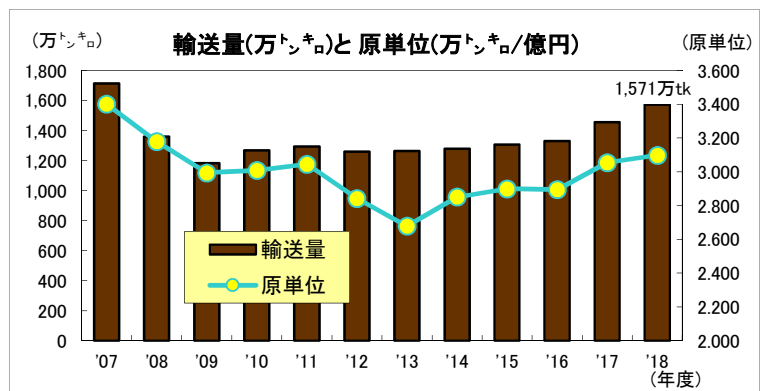
● CO₂原単位の推移（西川ゴム単体）

CO₂排出量削減, 原単位改善に向けて, 生産拠点及び本社等の非生産拠点それぞれに, 原単位目標を設定し低減に取り組んでいます。

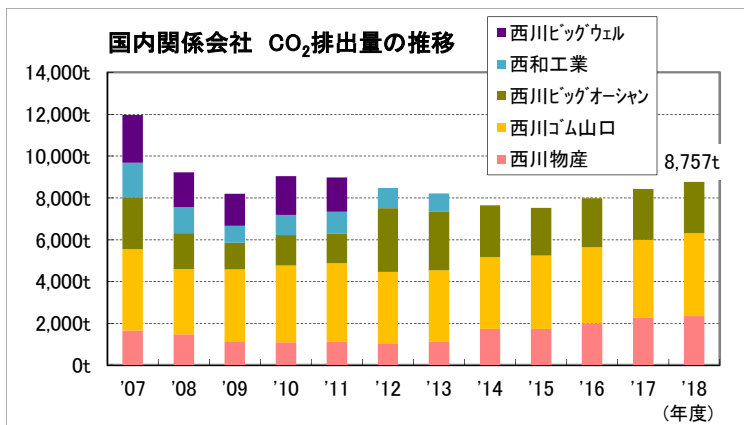


● 物流改善（西川ゴム単体）

当社の2018年度の輸送量は, 2017年度に比べ, 仕事量の増加に伴い108%増の1,571万トンキロとなりました。今後も荷姿の改善による積載効率の向上, 直行化直帰化によるデポ・工場間輸送の削減を継続的に行い, 原単位削減を推進してまいります。



● 国内グループ会社のCO₂排出量推移



グループ各社も, 2008年度より当社と歩調を合わせた省エネ活動を実施しています。しかしながら, 2017年度のCO₂排出量は, 仕事量のUPにともない若干の増加となりました。

- (注1) 2012年～西川ビッグオーシャンが西川ビッグウェルを吸収合併
- (注2) 2014年～西川物産が西和工業を吸収合併

CO₂換算係数は、下記の値を使用しました。

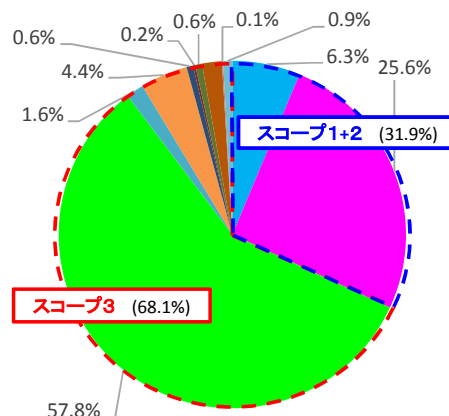
- 電力: 0.555 kgCO₂/kWh(代替値)
- A重油: 2.71 kgCO₂/L
- LPG: 3.00 kgCO₂/kg

出典: 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(環境省)

● 国内 NRC Gr全体 ライフサイクル管理の推進（スコープ1～3 実績把握）

2018年度 スコープ1～3 実績

項目	CO2(ton)	割合
スコープ1 事業者自らの直接排出～国内Gr全体	9,908 t	6.3%
スコープ2 他社からの供給分(間接排出)～同上	40,063 t	25.6%
カテゴリ1 購入した製品(原材料・副資材・他)	90,529 t	57.8%
カテゴリ2 資本財(自社資本財の建設・製造)	0 t	0.0%
カテゴリ3 エネルギー関連活動(S1・2非含分)	2,555 t	1.6%
カテゴリ4 輸送、配送(自社費用負担分)	6,939 t	4.4%
カテゴリ5 事業から出る廃棄物(自社分)	946 t	0.6%
カテゴリ6 出張(従業員の出張に伴う)	350 t	0.2%
カテゴリ7 雇用者の通勤	976 t	0.6%
カテゴリ8 リース資産(上流)	0 t	0.0%
カテゴリ9 輸送、配送(ユーザー負担分)	0 t	0.0%
カテゴリ10 販売した製品の加工(協力企業排出量)	2,860 t	1.8%
カテゴリ11 販売した製品の使用	0 t	0.0%
カテゴリ12 販売した製品の廃棄(加工委託先分)	188 t	0.1%
カテゴリ13 リース(下流)	0 t	0.0%
カテゴリ14 フランチャイズ	0 t	0.0%
カテゴリ15 投資	1,333 t	0.9%
スコープ1+2+3 総計	156,648 t	100%



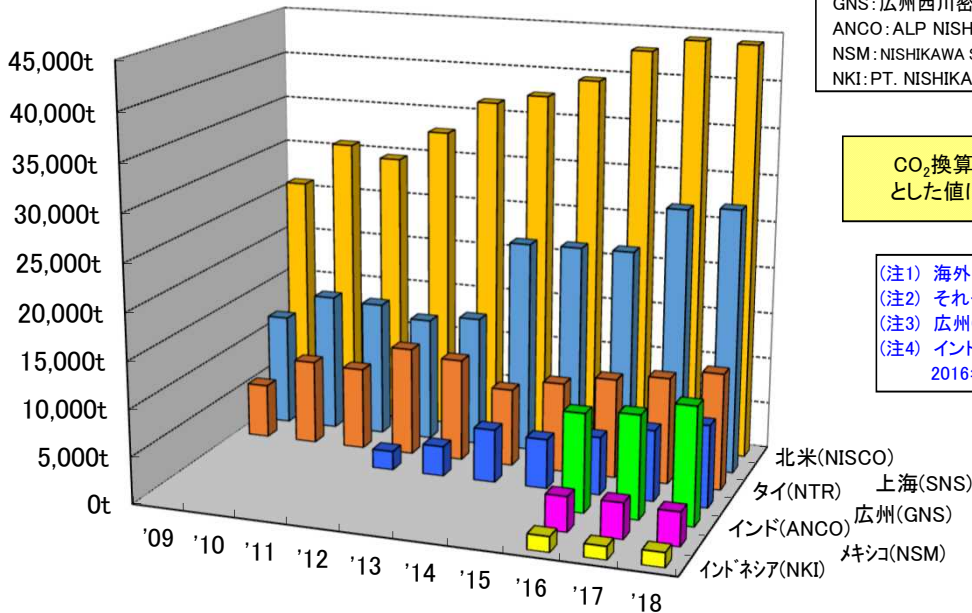
当社は, サプライチェーンを通じた排出量全体像を把握することで, 実質的な削減対策の策定につなげることを狙いとして, 自社の排出量管理にとどまらず, 経産省/環境省のガイドラインに基づいた「スコープ3」の算定を2017年度より実施しています。

今後, 徐々にサプライチェーンでのCO₂排出量の削減活動を推進していきたいと考えております。

主要海外グループ会社 環境実績

● 主要海外グループ会社のCO₂排出量と原単位の推移

主要海外グループ会社 CO₂ 排出量推移



＜主要 海外グループ会社の名称＞
 NISCO: NISHIKAWA COOPER LLC(アメリカ)
 NTR: Nishikawa Tachiplart Cooper Ltd.(タイ)
 SNS: 上海西川密封件有限公司(中国-上海)
 GNS: 広州西川密封件有限公司(中国-広州)
 ANCO: ALP NISHIKAWA CO., PVT. LTD.(インド)
 NSM: NISHIKAWA SEALING SYSTEMS MEXICO S.A. DE C.V.(メキシコ)
 NKI: PT. NISHIKAWA KARYA INDONESIA(インドネシア)

CO₂換算係数は、各国の設定係数をベースとした値によるもので算出されています。

(注1) 海外関係会社の中の生産拠点(7拠点)
 (注2) それぞれの会社の決算月による年間データ
 (注3) 広州(GNS)は、2012年～生産対応を開始
 (注4) インド(ANCO),メキシコ(NSM),インドネシア(NKI)は、2016年～データ収集を開始

海外のグループ会社におけるCO₂排出量推移は、生産量の拡大により現時点では増加傾向にあります。

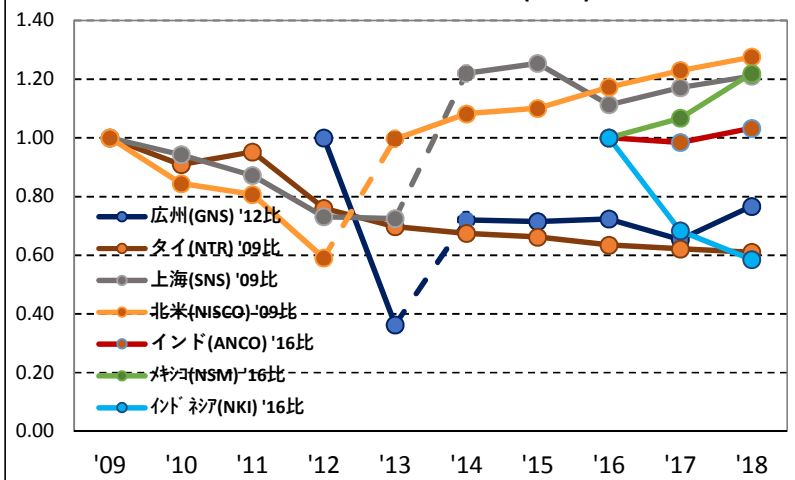
原単位としては、北米で'13年に生産に関わる量の見直しを行ったことで増加。上海/広州では、'14年にCO₂排出係数の見直しを行い、排出量及び原単位が増加となっています。

今後とも、生産性の改善をすすめ原単位改善を推進していきます。

＜各拠点原単位算出ベース＞

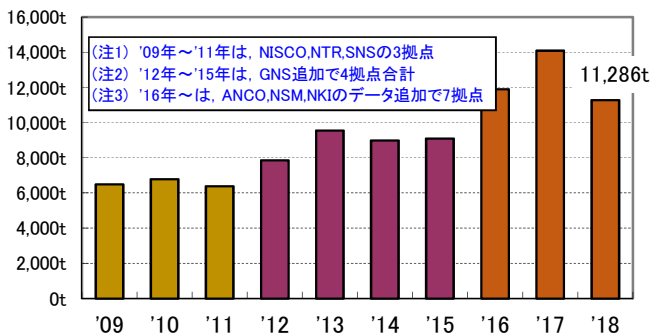
広州(GNS)	(CO ₂ t/万元)
タイ(NTR)	(CO ₂ t/M baht)
上海(SNS)	(CO ₂ t/万元)
北米(NISCO)	(CO ₂ t/生産千t)
インド(ANCO)	(CO ₂ t/百万Rs)
メキシコ(NSM)	(CO ₂ t/生産千t)
インドネシア(NKI)	(CO ₂ t/億IDR)

主要海外グループ会社 原単位(指数)推移



● 主要 海外グループ会社の総廃棄物量とリサイクル率

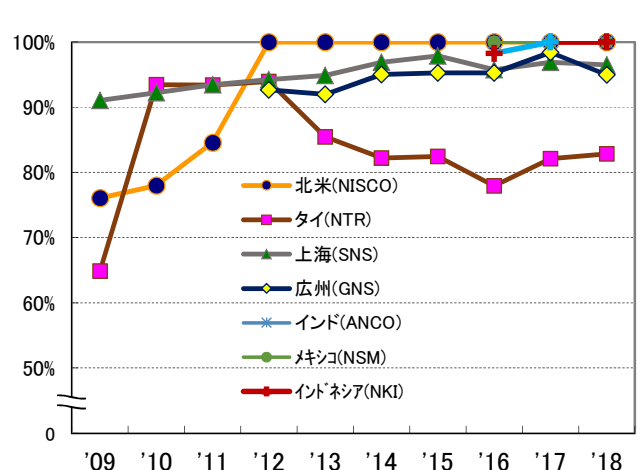
主要海外グループ会社 総廃棄物量の推移



海外グループ会社でも、廃棄物のリサイクル率の向上を目標として取り組んでいます。

100%リサイクルを達成した会社も出てきています。

主要海外グループ会社 廃棄物リサイクル率の推移



環境負荷物質の排出状況と水使用量

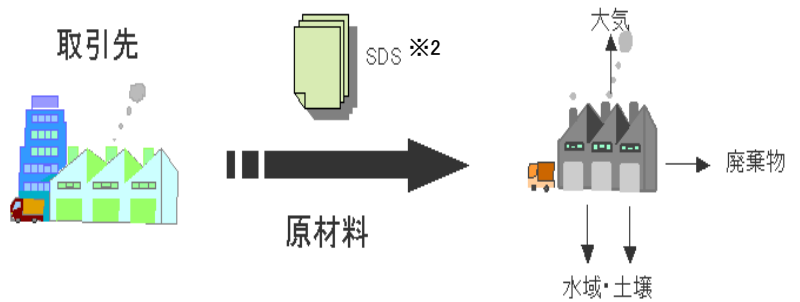
● PRTR物質の削減

1999年に制定されたPRTR※1法(特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律)に指定された特定化学物質については、排出量を算出しております。

これら化学物質の使用量の削減対策は、製品設計の見直し、改善により取り組んでいます。

※1 PRTR : Pollutant Release and Transfer Registerの略
環境汚染物質排出・移動登録制度

※2 SDS : Safety Data Sheetの略
化学物質の性状及び取り扱いに関する情報を記載した化学物質安全性データシート



● 2018年度環境負荷物質の移動量・排出量の状況

〈年間取扱量が1t以上のPRTR法該当化学物質で集計〉 〈単位:t/年〉

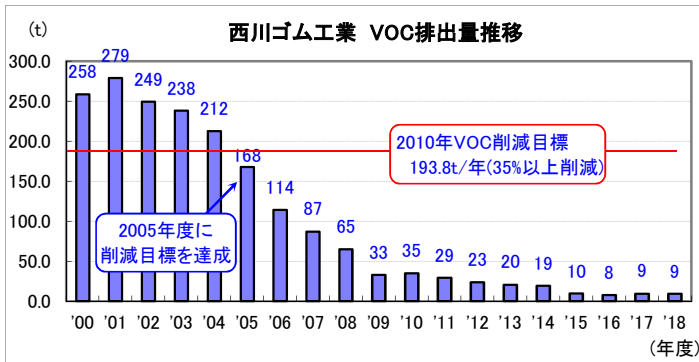
政令番号	CAS No	指定化学物質	移動量				排出量		
			廃棄物	大気	水質	土壌	水質	土壌	大気
42	96-45-7	2-イミダゾリジンチオン	1.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
268	137-26-8	テトラメチルチウムジスルフィド	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
372	95-31-8	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウムクロリドN-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェアミン	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
452	149-30-4	2-メルカプトンベンゾチアゾール	1.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
438	1321-94-4	メチルナフタレン	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計			4.14	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	

継続的な削減活動を進めた結果、ここ数年 移動量としての多少の増減はみられるものの、ほぼ現状維持の状態です。

今後も異常値の発生のないよう日常の監視体制の維持を図ります。

● 揮発性有機化合物(VOC*)の排出量削減

当社は、日本ゴム工業会のVOC排出量の削減自主規制計画に賛同し、VOC削減活動を実施しています。

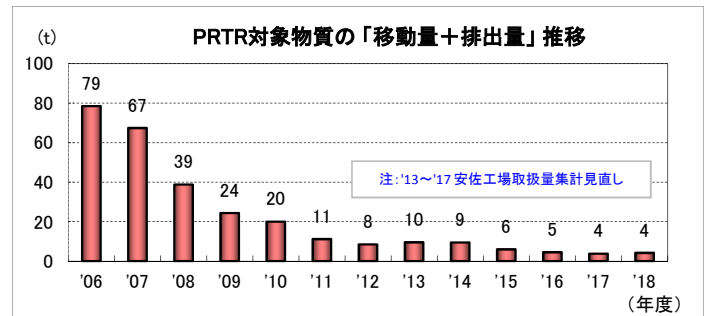
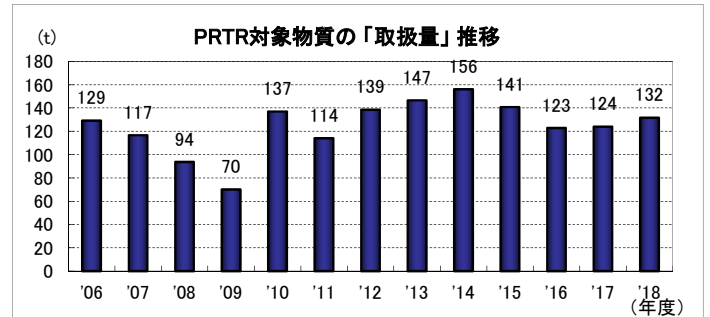
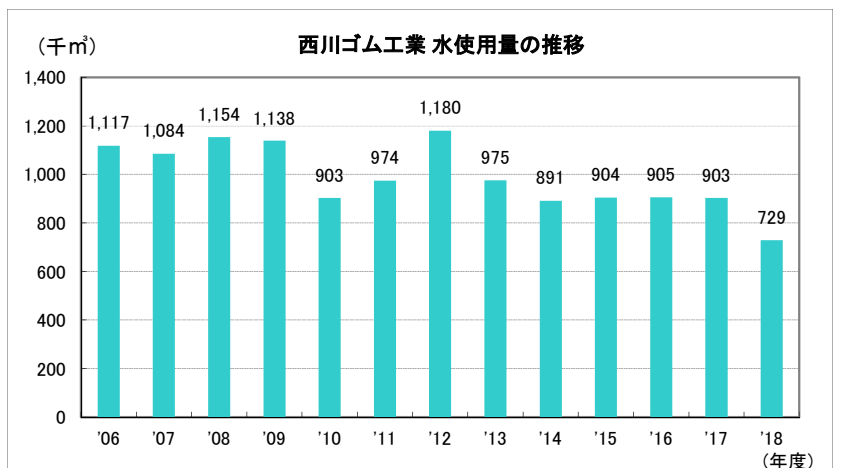


VOC排出量については、早い時期から有機溶剤塗料の水性塗料への切替えを行ってきた結果、日本ゴム工業会の自主目標(2000年度比35%削減)を2005年度には前倒しで達成しました。また、自動車工業会の進める車室内VOC低減活動のために、VOC含有素材使用制限活動を展開しています。

● 当社の水使用実績の推移

当社の生産活動における水使用の主目的は、設備や製品関係の冷却です。

排水の水質チェックとともに、使用量の異常の発生を監視しています。



※ VOC: Volatile Organic Compounds (揮発性有機化合物)

VOC 17物質
アセトン、イソプロピルアルコール、キシレン、酢酸ブチル、酢酸エチル、シクロヘキサン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、トリクロロエタン、トルエン、n-ヘキサン、メチルアルコール、メチルイソブチルケトン、メチルエチルケトン、ゴム揮発油、その他の炭化水素(炭素、水素のみで構成されるもの)

◎ 日本ゴム工業会のVOC排出削減に関する自主行動計画における削減目標

- ・2008年までに25%以上削減(2000年度ベース)
- ・2010年までに35%以上削減(2000年度ベース)
- ・2011年以降も当面の目標は35%以上削減(2000年度ベース)を継続する

〈年間1t以上の日本ゴム工業会が定めた代表VOC17物質で集計〉

2018年度の環境パフォーマンスまとめ (西川ゴム単体)



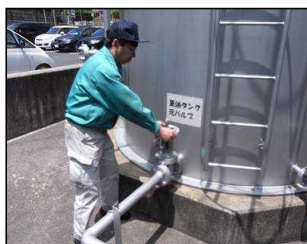
《算出方法等》

インプット	原材料	購入した原材料・配合薬品類の量
	エネルギー投入量	工場・事業所における電力、油、ガスの消費量
	PRTR対象物質	工場・事業所におけるPRTR法の対象とされる化学物質
アウトプット	大気への排出	CO ₂ : 工場・事業所におけるエネルギー消費にともなうCO ₂ 排出量 (エネルギー消費量 × CO ₂ 換算係数) NOx, SOx: 工場・事業所の排気口(ボイラー等)から排出される 排ガス中の物質濃度を測定した結果に基づき算出
	廃棄物の排出	対象の年度に工場・事業所において埋立処分、単純焼却、リサイクルされた量
	排水量	水資源投入量と同じ値(蒸発量は測定できないため、無視しています)

環境コンプライアンス

● 緊急事態対応訓練

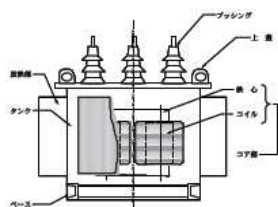
当社では、緊急事態を想定した訓練を実施しています。右の写真は、安佐工場での重油が漏洩した場合を想定した訓練の一例です。



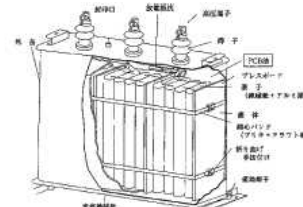
● (特別管理産業廃棄物) ポリ塩化ビフェニル(PCB)含有機器の管理



高圧トランスの例



高圧コンデンサの例



コンデンサを内蔵する安定器の例

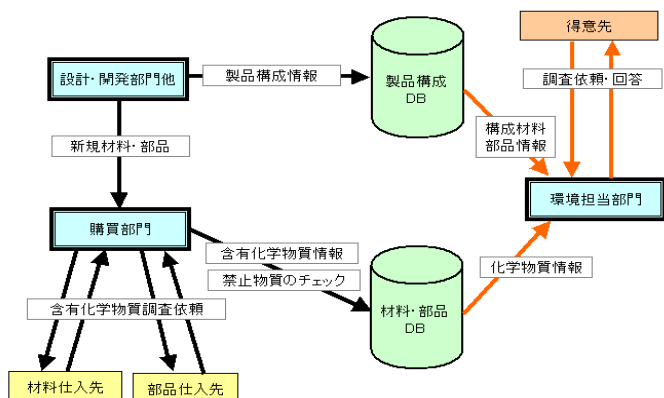


2018年度、当社の処分対象機器(計14台)～法律にもとづいた処置(搬出・処分)を実施しました。(安定器:3台、トランス:8台、リアクトル:1台、コンデンサ:2台)



今後も、使用中の機器(低濃度)を中心に、計画的な入替え対応を行い、法定期限内に順次適正処分を実施していく予定です。

● 環境関連法規制に基づく環境負荷物質(SOC※3)管理システムの構築



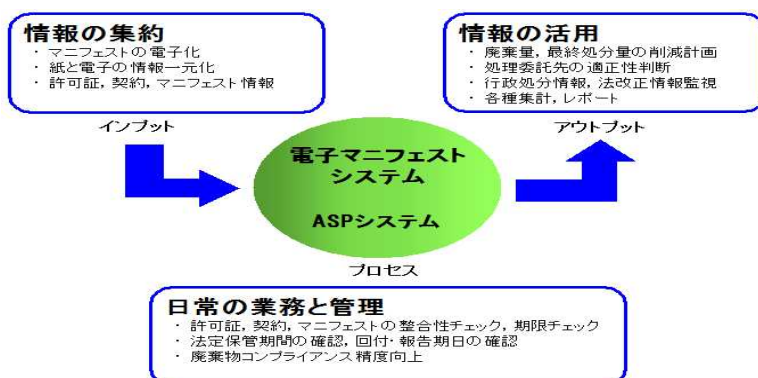
[西川ゴム工業の製品含有化学物質管理のフロー]

欧州のELV指令※4, RoHS指令※5, REACH規則※6, 法規制やお客様からの要求をふまえ、弊社では使用を規制する環境負荷物質(SOC※3)リスト[NSE0001;環境負荷物質の管理規定]を制定し、左記のような体制を構築して、SOCの管理・低減をグローバルで取り組んでいます。

- ※3 : SOC(Substances Of Concern)
- ※4 : ELV(End of Life Vehicles) 指令
- ※5 : RoHS(Restriction of Hazardous Substances) 指令
- ※6 : REACH(Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals) 規則

● 廃棄物管理 電子システムの導入

現在、国内Gr各社へ導入している産業廃棄物処理状況の一元管理を目的とした“電子マニフェスト”システムを活用し、引き続きコンプライアンス違反のリスク低減と、業務コストの改善を継続推進しております。



地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション

● 安佐工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

安佐工場 寄贈 郵様

《久地小学校運動会》

2018/9/16 「久地学区ふれあい大運動会において 準備の支援を行い 当日は工場長および従業員が応援に駆けつけました。



久地連合自治会 会長 藤野 孝博
 広島市立久地小学校 校長 大石 信洋

「久地学区ふれあい大運動会」のお礼

秋分の候、貴台におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より、久地連合自治会、久地小学校に対しまして、格別のご支援とご協力をいただき、深く感謝しております。

さて、去る9月16日(日)に開催された「久地学区ふれあい大運動会」においては、準備に従業員様、当日は工場長様・ご家族様、タイ研修生様に応援に駆けつけていただき心より感謝いたします。また、児童に記念品をいただき重ねてお礼申し上げます。

今後引き続き、久地連合自治会、久地小学校に対しまして、一層のごようお願い申し上げます。簡単ではございますが、お礼申し上げます。



《久地小学校3年・4年生の工場見学》

2018/6/1 久地小学校3年・4年生の皆さんへの工場見学を実施しました。



● 白木工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《工場周辺のクリーンウォーク》

2018/4/29 恒例のクリーンウォークを実施しました。



《献血への協力》

2019/1/10 工場内にて献血車による献血を実施しました。献血者:24名



《敷地内 堂山“祠”の外壁修繕》



改修後

白木工場敷地内に「堂山」と呼ばれている小高い山があり、頂上に 祠と供養塔が祭られています。堂宮の外壁が風雨で荒れて倒壊の恐れがあると周辺自治会から相談があったため、地域貢献の一環として修繕をしました。

西川ゴム工業(株) 白木工場
 御堂改修工事 寄贈
 2019年3月31日

《白木中学校インターンシップ受入れ》

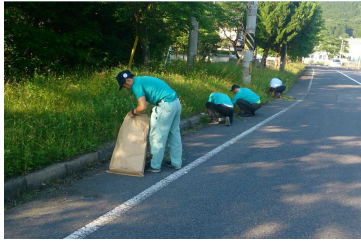
2018/5/8~5/10 (NI仕上裁断工程で実習)この度は、2名でしたがテキパキと作業をこなしておられました。



地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション

● 吉田工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《工場周辺清掃》 2018/6/1 工場周辺の一斉清掃を実施しました。



《地域でのお祭りへ参加》

2018/7/21 実習生にも協力いただき, 毎年恒例の地元のお祭り”一心祭り”へ参加させていただきました。



● 三原工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《工業団地内の清掃活動》

2018/11/13 小原工業団地協議会主催による清掃活動に参加をしました。



《『エヒメアヤメ』自生地の下草刈作業参加》

2019/2/24 毎年恒例となっている, 地元保存会・町内会・小中学校・工業団地企業等による, 国の天然記念物「エヒメアヤメ」の保存を目的とした下草刈に参加しました。



地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (国内関係会社)

● 西川物産 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《会社周辺定期清掃》

西川物産では、毎月 第2月曜日を「周辺清掃の日」として定期的な清掃活動を行っております。



《環境保護 可部工場の緑地整備と太陽光発電設置》

緑地を含め敷地面積の15%以上の環境施設が必要なため(工場立地法)、不足分を緑地整備(10%)とソーラーパネル設置(5%)で補いました。



● 西川ゴム山口 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《工業団地の清掃活動》

2018/6/15 実習生も参加し、工場周辺の道路や側溝の清掃を行いました。



《やまぐち移植医療推進財団運営支援型自動販売機の設置》

自販機の売上金の一部が「やまぐち移植医療推進財団」の活動資金として活かされています。



● 西川ビッグオーシャン 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《近隣清掃活動 (NBO本社・安佐事業所)》

2019/3/22 NBO本社と安佐事業所員で、安佐工場の周辺を清掃しました。



工場周辺の道路のゴミがなくなり、きれいになりました。
継続実施により、環境への意識高揚に取り組みます。

地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (海外関係会社)

● NISCO 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

＜海外グループ会社の名称＞

NISCO: NISHIKAWA COOPER LLC(アメリカ)
NTR: Nishikawa Tachapalart Cooper Ltd.(タイ)

＜＜“Indiana Environmental Stewardship Program”への登録＞＞

NISCOでは, “Indiana Environmental Stewardship Program”へ参画(参加企業として登録)し, 汚染防止や廃棄物削減の活動を進めています。



＜＜“United Way”に参加＞＞

“United Way”は, 地域の団体と一緒に地域問題を解決するために資金や人材を活用します。



＜＜“Community Involvement”＞＞

NISCOの従業員は, 地域の学校の環境向上と美化に会社を挙げて貢献しています。



＜＜“Junior Achievement”＞＞

NISCO社員が社会人の立場から, 他分野にわたる専門知識を地域の高校に出向いて, 授業の一環としてレクチャーしています。



● NTR 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

＜＜地域貢献活動＞＞ 2018/12/28 工場周辺の清掃を行いました。



2018/7/21 チョークチャイのバーンダレーンという学校で政府機関と合同で遊具の整備を行いました。



地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (海外関係会社)

● ANCO 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《地域貢献活動》

小学校物資支援
(筆記用具・机椅子など)



貧困者への食事提供



女性社会進出サポート(裁縫スキルアップ)



＜海外グループ会社の名称＞
ANCO: ALP NISHIKAWA CO., PVT. LTD.(インド)
NKI: PT. NISHIKAWA KARYA INDONESIA.(インドネシア)

● NKI 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《地域貢献活動》

2018/8/16 NKI従業員の多くが居住している地域の小学校の清掃を行いました。



地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (海外関係会社)

● SNS・GNS 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

《クリーンウォーク》

(SNS) 工場の周辺の掃除を5月, 10月の2回行っています。



(SNS) 8月 松江区永豊街道の消防中隊へ, 敬意を表し慰問を行いました。



(GNS) 2018/5/27 献血活動を行いました。



(GNS) 2018/5/31 日特殊学校を慰問。



＜海外グループ会社の名称＞

SNS: 上海西川密封件有限公司 (中国-上海)

GNS: 広州西川密封件有限公司 (中国-広州)

(SNS) 11月 上海紅十字会に寄付をしました。



(GNS) 2018/5/27 工場周辺清掃活動の実施。



地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (海外関係会社)

● NSM 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

< 海外グループ会社の名称 >

NSM: NISHIKAWA SEALING SYSTEMS MEXICO S.A. DE C.V. (メシコ)

《リサイクルコンテストの開催》

2018/5月～リサイクルコンテストを開催し、従業員の“環境保護”への意識付けを行っています。



《植林活動》

グアナファト州シラオ市の中学校で植林活動をしました。



La Telesecundaria #612 で植林活動をしました。



“リサイクルコンテスト” 作品の一部を紹介します

● 2018年の出展作品:



小型マット



卓上ランプ

自然由来石鹸



額縁

貯金箱と化粧品ホルダー



鏡、カバン、椅子



ペン立て



使用された廃棄物は:

			
プラスチック	木材	金属	スクラップ
			
		古紙	

BCP対応（西日本豪雨災害を受けて）

● 2018年7月 西日本豪雨災害により 白木工場浸水被害



2018年7月6日未明から7日早朝にかけての水害において白木工場にて、甚大な被害を受けました。周辺地域も、三篠川の氾濫に伴い床上・床下の浸水、家財の流出、田畑への冠水等、甚大な被害を受け、インフラが寸断されました。

周辺地域も断水が続いており、当社より近隣住民への飲料水等の提供も実施し、工場内の整理とともに、近隣家屋における泥搬出等を、西川グループ有志によりボランティア活動として実施しております。

● 同年同月 西日本豪雨災害により 三原工場停電、断水被害



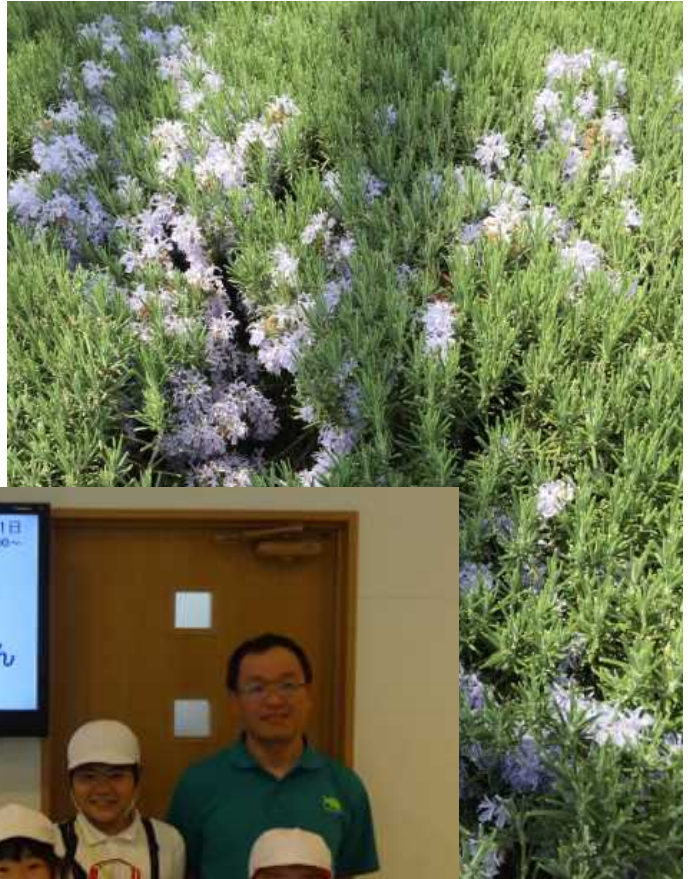
三原工場においては、付近の沼田川の氾濫により、大規模な停電とともに、断水状態が発生。

お取引先より自家発電車両の貸与を受けるとともに、従業員総出での水のピストン輸送によりなんとか操業の継続を行うことができました。

● BCPの見直し

この災害による教訓を生かし、地震だけでなく自然災害全般に対応できるようBCPの見直しをおこないました。

お取引先様をはじめ、多大なるご高配を賜りましたこと、この場をお借りしましてあらためてお礼申し上げます。



花々にも負けない笑顔





作成日 : 2019年 7月 31日

発行元 : **西川ゴム工業株式会社**
品質保証本部 環境安全部

連絡先 : TEL 082-237-9375(直通)
FAX 082-238-3983(同上)